

方針

組織体制の見直し

組織体制の見直しは急務であり、今年度は充分時間を割いて加盟団と共に協議していきたい。そのためにも、今年度はオルグ活動を最優先項目として積極的なオルグ活動を展開していく。その中で青年団の意義、県青協の意義を確認しあい、共通認識をもって活動にあたり、新たな組織づくりに努めたい。

青年団の繋がり強化

青年団は全国組織であり、全国各地で様々な活動が展開されている。それぞれの地域活性、地域貢献の活動をさらに充実していくためにも、視野を広げ、様々な情報を得る必要がある。そのための交流の場や学びの場を多く提供していきたい。

また、県青協としての社会活動を取り入れるためにも加盟団と共に協議していく。

テーマについては今年度も引き続き

『輝』としたい。

平成25年度テーマ

かがやく

輝

～キラリ☆青年団～

※「青年団がもっと輝けるように」という気持ちを込めて、このテーマとしました。

1) 第62回宮崎県青年大会

期 日：平成25年8月31日（土）～9月1日（日）

場 所：宮崎県総合運動公園 宮崎県武道館 他

スポーツを通して各加盟団との連携を強めることや、地域に伝わる伝統文化・芸能の掘り起こしを目的として開催している。1人でも多くの青年団員に参加していただき、この大会で他加盟団との交流を深め、そこで得られた経験をこれからの活動に活かしていただきたい。

また、ここ数年芸能文化の部の参加者が非常に少ないので、多くの方に参加していただきたい。

2) 第62回全国青年大会

期 日：平成25年11月8日（金）～11日（月）

場 所：東京都内各会場

日頃の練習の成果を全国場で試し、その中で全国の青年団と交流を持てる大変貴重な場である。この大会を通じて、様々な感動や経験を得られるよう、多くの参加者を派遣していきたい。

3) 平成25年度大夜会～もっと語ろう夜会～（宮崎県青年問題研究集会）

期 日：平成26年1月18日（土）～19日（日）

場 所：未定

普段の青年団活動の中で、疑問や不安、自分の考えに自信が持てないなどの悩みをかかえていないだろうか。その悩みはもしかすると、他の市町村青年団員も抱えていて、すでに一部を解決できている人がいるかもしれない。大夜会は自分の市町村外で活動している仲間と語り合い、新しい刺激を受けてもらうことを目的としている。

自分の青年団での立場をもう1度見直してみて、同じ境遇や考えを持った仲間の意見を聞きたいと思ったならば、ぜひ参加していただきたい。

4) お邪魔させていただきます活動（オルグ活動）

加盟市町村の事業への参加や見学などを通し、県青協役員と加盟市町村との連携の強化、意見交換の場として活用し、今後の県青協運営へも反映させていきたい。

5) 大交流会

期 日：平成25年6月22日（土）～23日（日）

場 所：未定

県内全域の青年団同士の交流・親睦を深める場を設ける。

昨年度は43名の参加があった。各加盟団から多くの団員が参加しやすい企画・運営をし、各団員が有意義な時間を過ごせるよう努めたい。

また、各加盟団においては多くの参加者を募り、積極的な参加をお願いしたい。

6) 第44回九州青年祭 in 佐賀

期 日：平成25年9月14日（土）～16日（月）

場 所：佐賀県

九州ブロック青年団で開催される事業であり、今年度は佐賀県で開催される。

九州各県の青年団と交流でき、様々な意見や情報を共有できる場である。そこで得られるものを地元を持ち帰り、活動に活かしていただくためにも多くの参加者を募りたい。

7) 2013年度全国地域青年「実践大賞」

この賞は全国各地で展開されている特色ある実践を顕彰し、学びあい、青年たちの繋がりを作る機会として明日の地域づくりの一端を担うことを目的としている。

自分たちの活動を全国にアピールできると同時に、活動を振り返る機会ともなるため、今年度も昨年度以上の応募をお願いしたい。

8) 第59回全国青年問題研究集会

全国の各道府県、各市町村で活動している青年団の仲間たちがいるが、その仲間たちと語り合う機会はほとんど無い。それを実現するのが全国青年問題研究集会であり、北海道から沖縄まで大勢の青年団員が東京に集まり、それぞれの意見や悩みを持って参加している。

宮崎県を飛び出して他県の仲間を作ることによって自分の視野も広がり、そこでできた繋がりは必ずあなたの良い刺激になるため、ぜひ市町村の仲間たちと一緒に参加していただきたい。

9) 宮崎県青少年団体連絡協議会

今後のあり方の協議が必要であり、その結果を踏まえての判断をせざるを得ないが、他団体との連携は必要であるため、県青協としては今後も引き続き加盟し、連携を図っていきたい。

10) 北方領土返還要求宮崎県民会議への参加

今年度もキャラバン隊に参加し、この運動を広めていく。問題解決に向けてはまだまだ先が長くなることが予想されるが、運動を止めてしまえば解決は望めない。我々若い世代がしっかり引き継いでいく必要があり、多くの方に発信していきたい。

11) 情宣活動

① 投げ込み

県内各加盟団では、様々な活動が展開されている。その活動を多くの方々に認知していただくことが、新たな仲間を増やし青年団活動を盛り上げていくことに繋がっていく。TV、新聞、ラジオ等へ積極的な情報の投げ込みを行いたい。青年団が行う活動であれば、ぜひ県青協事務局までご一報いただき、宣伝活動に利用していただきたい。

② 県青協ホームページの活用

近年は青年大会の申込書や要項のダウンロードで使用しているが、前年度に使用しなかった部分も多く残っているため、整理を進めていく。

県青協ホームページアドレス → <http://miyazakiseinen.com/>

QRコード →



③ 日青新聞の定期購読

全国の青年団活動が分かると同時に、地元の活動をアピールできるので、積極的に情報提供をお願いしたい。本年度も各加盟団に定期購読をお願いする。

12) 2013年度全国青年団教宣コンテストへの推薦

教宣コンテストとは、機関紙やホームページなど青年団が情報発信している媒体・グッズのコンテストである。各加盟団が、社会に対する青年団の主張をどのように効果的に発信していくか、組織強化として団員同士の共通認識をどうすれば得られるかを形にしたものである。

皆さんの日頃の青年活動の成果を全国の青年に報告していただきたい。

13) 会議

県青協の基幹会議は、定期大会のほか、代議員会を年3回開催することと規約に定めがある。昨年度は規約に沿って会議を開催してきたが、年度当初に開催日が決まっているにもかかわらず、委任状の提出が目立った。

基幹会議は、宮崎県内の青年団が協議し、そこで承認されたことは県内青年団の共通認識となるため、基幹会議の重要性を再度認識していただき、活発な議論が展開されることを期待する。

14) 執行部

県青協規約には、会長1名、副会長4名、常任理事12名、監事3名、事務局長1名の計21名となっている。しかしここ十数年、役員の定員を満たしておらず、十分な県青協運営を行うことが出来ていない。平成23年度には、県青協存続についての話し合いも行ったが、平成24年度も役員の定数を満たしてはいない。

各加盟団には、地域団から青協、青協から県青協という繋がりと、自分たちの代表ということを認識していただき、役員選出に努めていただきたい。

15) 事務局

今年度も、事務局長1名と常勤の事務局員1名で運営を行っていく。県内青年の事務局なので、青島に来られた際にはぜひお立ち寄りいただきたい。

宮崎県青年団協議会事務局

〒889-2163 宮崎県宮崎市青島西1丁目11番地

電話番号 0985-65-1013

事務局携帯電話 090-5744-6062

FAX 0985-65-1958

携帯電話メールアドレス m_seinen_kendan@docomo.ne.jp

パソコンメールアドレス m_seinen@d2.dion.ne.jp

事務局勤務時間 9:30~17:30 (月曜日~金曜日)

16) 団員登録

県青協の運営を行うにあたって、団員確保は非常に重要である。加えて会費は、数少ない貴重な収入源である。各加盟団においては、団員登録を速やかに行っていただきたい。

(登録締切：平成25年7月19日(金) 必着)

また、個人会員の登録も認めることとなっている。加盟団のない地域に在住している者、加盟団の規約によって加盟団に登録出来ない者については随時登録を行い、少しでも青年団の仲間を増やせるよう努めていきたい。

17) 財産・予算

県青協の預金・備品・その他の資産管理については、事務局において管理する。

予算については、補助金額が年々少なくなっているが、健全な運営ができるように努めていく。

18) 青年会館及び事務局

青年会館については公益法人制度改革に基づき、早期に結論を見出したい。

事務局については25年度も無償契約となっている。

19) 宮崎県青年団協議会賛助会

賛助会員に対し、県青協運営に資するための賛助会費納入依頼を行っていく。